

<他集落との連携、高齢農家等への支援に取り組む事例>

○協定参加者の協力による地域活性化

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	愛媛県北宇和郡鬼北町 <small>きたうわぐんきほくちよう、</small> 上鍵山・上本村巻 <small>かみかぎやま かみほんむらまき</small>			
協定面積 7.7ha	田 (97.7%)	畑 (2.3%)	草地	採草放牧地
	水稲	果樹		
交付金額 160万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	道・水路管理費		12%
		農地管理費		14%
		鳥獣被害防止対策費		17%
		役員会他		7%
協定参加者	農業者29人、農業者以外5人			開始：平成12年度
人・農地プランの作成状況	集落全体で作成済			

2. 取組に至る経緯

上鍵山集落は、鬼北町の最東端に位置した典型的な中山間地域で、著しい過疎・高齢化に伴い耕作放棄地の懸念が大きくなっていった。しかし、中山間地域等直接支払制度の第1期、第2期対策の取り組みを行ったことにより、耕作放棄地の拡大を防ぎ、景観の保全に努めることができた。第3期対策からは、C要件を選択しサポート体制の取り決めを行い、高齢者も安心して農業生産活動に従事できる集落協定を締結することができた。

3. 取組の内容

当集落では、法面・農道・水路・農地の管理に力を入れている。最近では、どこの集落でも頭を悩まされている有害鳥獣被害の対策で、協定農用地すべてを柵で囲んだ。農道から農地への進入路についても整備されている。また、地元農業公社に依頼し、ヘリ防除を行っている。



【全景：すべてを柵で囲んでいる】



【農地のヘリ防除作業】

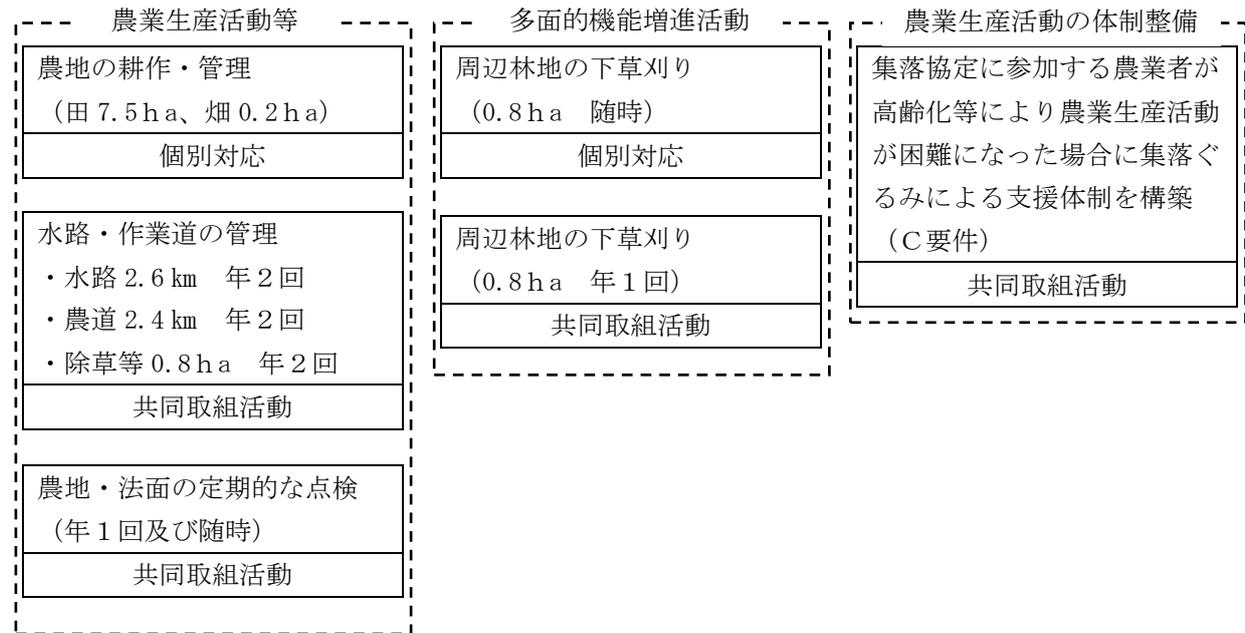
[集落の将来像]

- 高齢者が増加し、後継者がいない状況にあるが、集落で協力し現在の農地（景観）を守っていきたい。



[将来像を実現するための活動目標]

- 水路・農道等の整備を行い、耕作放棄地の発生を抑制する。



集落外との連携

- 僚友会と連携した有害鳥獣の駆除

4. 今後の課題等

有害鳥獣対策については、現在のところ解決する見込みがなく、農業者の意欲の低下につながっている。

[第2期対策の主な成果]

- 集落で協力することにより、集まりが増え、高齢者や女性の方も作業に参加しやすく、集落の活性化につながっている。